

(1) 対象学年・活用できる教科単元 (例)

学年	教科書	大単元	小単元
小5・6	開隆堂	消費生活・環境	1.物やお金の使い方を考えよう 2.買い物の仕方を考えよう 3.これからの生活に生かそう
	東京書籍	持続可能な社会へ 物やお金の使い方	(1) よりよく選ぶために考えよう (2) 買い物について考えよう
中2	開隆堂	消費生活・環境	1.家庭生活と消費 2.購入・支払いと生活情報
	東京書籍	金銭の管理と購入	・購入方法や支払い方法の特徴 ・計画的な金銭の管理

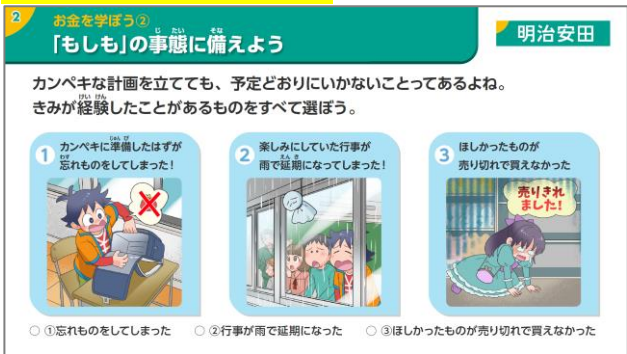
そのほか、「総合的な学習の時間」や「道徳」、中学3年生の社会科（公民分野）の「現代社会を捉える枠組み」「市場の働きと経済」などで部分的に抜粋してご活用いただくことも可能です。

また、中学生では、校外学習における班行動を計画する際の練習としてもご活用ください。

(2) ねらい

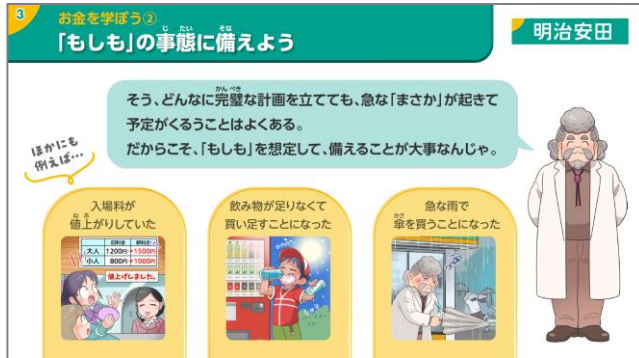
- ・日常生活には様々なリスクがあることを理解し、リスクを予測して行動することの大切さを理解する。
- ・「まさか」「もしも」の事態には、自分の注意で防げるものとそうでないものがあることを知り、リスクを予測して備えるという考え方を学ぶ。

(3) 本時の展開 ※小学校では45分、中学校では50分を目安にご活用ください。

	学習活動（主な発問と予想される児童・生徒の様子）	指導上の留意点・カード活用
導入	1. 日常生活には、予定通りにいかないことがあると いうことを理解する。 経験したことがあるものをすべて選択してもらおう。 【選択肢集計】スライド2  クラスの集計結果から考える。 ・どんなに完璧に計画しても、予定通りにいかないこ	普段の生活の中でどんな「お金」を使ったことがあるかを考え、自分ごととして捉えられるように導く。 【オクリンクプラス操作】 ●子どもたちがワークするためのカードはあらかじめ配布しておき、説明用のスライドは先生がモニター等に映して説明することをおすすめします。 ●今回の授業では班ごとのグループワークを行うため、あらかじめ「みんなのボード」に「1班」「2班」など、班ごとのボードを作成しておくとうよいです。

とってたくさんあるよね
・天気など、自分の努力や注意ではどうにもならない
こともあるね など

どんなに完璧な計画を立てても、急な「まさか」は起
きる。だからこそ「もしも」を想定して備えることが
大切であることを知る。



●ワークカード（スライド 6、7）
を、あらかじめ各班のボードに配布し
ておくワークがスムーズです。

●スライド 2 の「選択肢集計」のカー
ドはクラス全員に送付し、選択肢を入
れたら「みんなのボード」に送っても
らいます。

「みんなのボード」左上の集計ボタン
から「選択肢集計」を押すとグラフ化
されます。

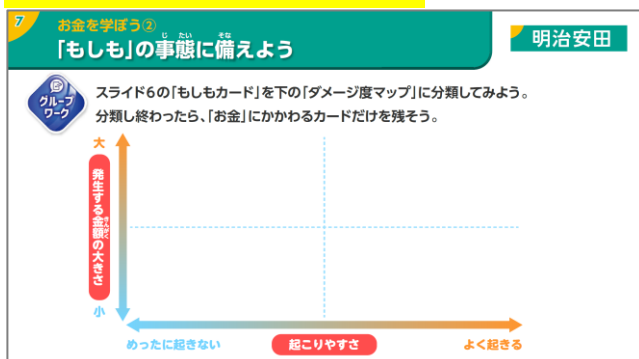
展
開

2. お出かけにはどんな「まさか」や「もしも」があ るかを考える（グループワーク）

【もしもカード】スライド 6



【ダメージ度マップ】スライド 7



班に分かれて、お出かけ時に起きうる「もしも」の事
態を考える。

スライド 6 の「もしもカード」を使い、スライド 7 の
「ダメージ度マップ（リスクマップ）」に分類する。
分類し終わったら、「お金」に関わるカードだけを残
し、それ以外は削除する。

日常生活には様々なリスクがあること
を、「お出かけ」という場面を想定し
て考えていく。

【オクリンクプラス操作】

●スライド 6 の「もしもカード」から
選んで（必要に応じて、自由に記入で
きるカードに記入して）、お出かけ時
に起きうる「もしも」を考える。

●スライド 7 の「ダメージ度マップ」
に「もしもカード」を分類して貼って
いく。全部のカードを使用しなくても
よい。

●分類が終わったら、「お金」に関わ
るものだけを残し、他は削除してもら
う。

<予想される児童・生徒の様子>

- ・ 班員によって分類位置が異なり意見が分かれる
- ・ 自分の体験談をもとに考える
- ・ お金の損失だけでなく気持ちの面でのダメージを考え始める

声かけ例：

- ・ 「正解探し」ではないため、どこに置くのが「正解」かではなく、なぜそこに置こうと思ったかの「理由」を考えることが大切。
- ・ 同じカードでも考え方が違えば置く場所が変わってもよい。
- ・ 班の中で意見が違うときは理由を聞いてみよう。

このワークで気づいてほしいこと：

- ・ リスクをゼロにすることは難しいということ
- ・ 起こらないように行動する「備え」もあるし、起こったときに困らないようにする「備え」もあるということ
- ・ 自分で防げるものと、防げないものがあることに気づかせる

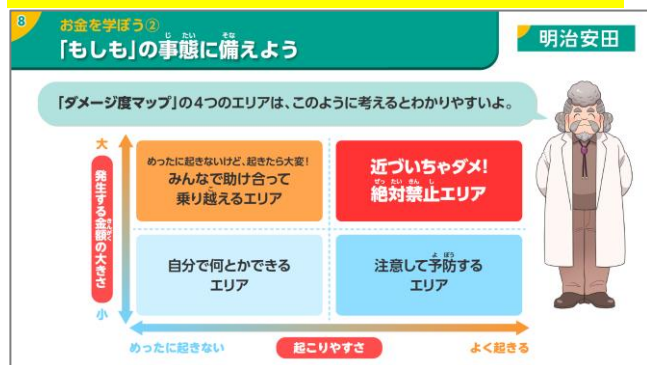
例)

忘れ物 → 注意で減らせる

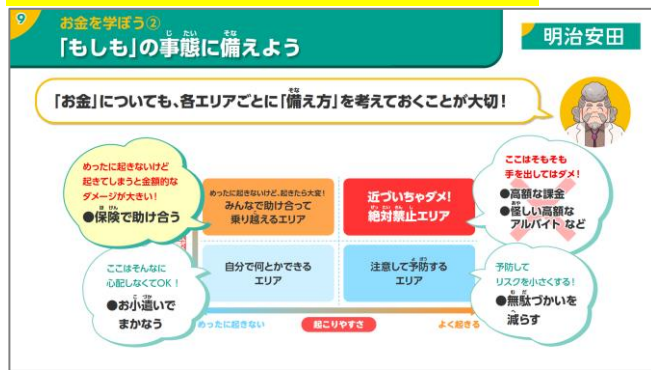
病気や事故 → 完全には防げない

3. 「ダメージ度マップ」の4つのエリアの考え方を説明する。

【ダメージ度マップ 4つのエリア】スライド8



【エリアごとのお金の備え方】スライド 9



スライド 8 で各エリアの考え方を説明し、スライド 9 で「お金」に着目した場合の考え方を説明する。

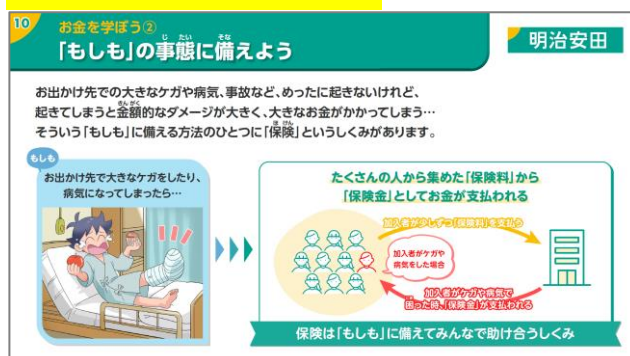
発生する金額が小さいエリア（下）は、自分で注意して予防することがまず大切であり、何かあっても賄えるようにお小遣いや貯金で備えておくことが大切。

発生する金額が大きく、リスクが大きいエリア（特に左上）は、自分の注意や努力だけでは対応しきれないからこそ、どういう備え方があるかを考えておくことが大切。

下記は先生向けの補足です。

■各エリア内での対処方法を伝えるだけでなく、頻度やダメージを減らす工夫をすることで他のエリアにリスクを移していくという考え方もあります。

【保険のしくみ】スライド 10



例えば大きなケガや病気などの「もしも」に備える方法として「保険」があり、「保険」は「もしも」に備えてみんなで助け合うしくみであることを知る。

終末

3. 授業を通して考えたことや気づいたことを振り返る。

振り返りカード（スライド 11）に記入して、「提出 BOX」に提出する。

授業を通して、お金の使い方について気づいたことを振り返り、まとめる。

【振り返りカード】スライド 11

11

お金を学ぼう②
「もしも」の事態に備えよう

明治安田

まとめ
ワーク

今回の授業を受けて、考えたことや気づいたことを書こう。

クリックしてテキストを編集

時間があれば、何人かの意見を共有する。

<予想される児童・生徒の意見例>

- ・忘れ物は気をつければ防げるけど、事故などは気をつけていても起こることがあると思った。
- ・小さなお金なら自分で払えるけど、大きなお金が必要になることには準備が必要だと思った。
- ・気をつけても防げないことがあるから、事前に備えることが大切だと思った。

4. 「もしも」の事態に備えておくことの大切さをまとめ

【まとめ】スライド 12

12

お金を学ぼう②
「もしも」の事態に備えよう

明治安田

「もしも」の事態に備えるために、大切なことはなんだろう？

- ・「まさか」や「もしも」を想像する
- ・「ダメージ度」にあわせた準備をする

起きたらこまるな、
つてことを
考えておくのが大事
なんだね！

準備をしておけば
心配や不安がへらせる
ものね！

- ・「まさか」や「もしも」を想像すること
- ・「ダメージ度」にあわせた準備をすること

【オクリンクプラス操作】

●スライド 11 の「振り返りカード」に各自記入し、「提出 BOX」に提出してもらう。

●（時間があれば）

「提出 BOX」に提出された振り返りカードの中から、先生がいくつか意見をピックアップしてクラスに共有し、問いかけを行う。

●まとめ（スライド 12）をモニター等に映して共有。

お金を使う時に大切にすべき考え方を説明してまとめる。